

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-511088 (P2005-511088A)

【公表日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報 2005-017

【出願番号】特願 2003-551302 (P2003-551302)

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 K 38/00

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/12

C 0 7 K 14/47

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/12

C 0 7 K 14/47

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 A

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 6 月 10 日 (2004.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

完全長 G Z I P ポリペプチドの単離されたポリペプチド断片であって、前記ポリペプチド断片の配列が、配列番号：2 の 1 0 1 ~ 2 7 2、1 2 1 ~ 2 9 8、5 9 ~ 2 4 2、2 2 1 ~ 2 9 8、1 4 5 ~ 2 9 8、2 2 1 ~ 2 4 2、2 1 ~ 2 9 8、2 1 ~ 2 0 2、2 1 ~ 2 0 8、2 0 3 ~ 2 9 8、2 0 9 ~ 2 9 8、2 1 ~ 2 4 6、2 1 ~ 2 5 0 位の連続するアミノ酸、または配列番号：3 の 9 8 ~ 2 6 9、1 1 8 ~ 2 9 5、5 6 ~ 2 3 9、2 1 8 ~ 2 9 5、1 4 2 ~ 2 9 5、2 1 8 ~ 2 3 9、1 8 ~ 2 9 5、1 8 ~ 1 9 9、1 8 ~ 2 0 5、

200～295、206～295、18～243、18～247位の連続するアミノ酸から本質的になる断片。

【請求項2】

担体と、配列番号：2の101～272、121～298、59～242、221～298、145～298、221～242、21～298、21～202、21～208、203～298、209～298、21～246、21～250位の連続するアミノ酸、または配列番号：1の98～269、118～295、56～239、218～295、142～295、218～239、18～295、18～199、18～205、200～295、206～295、18～243、もしくは18～247位の連続するアミノ酸から本質的になるポリペプチド断片配列とからなる組成物。

【請求項3】

配列番号：2の101～272、121～298、59～242、221～298、145～298、221～242、21～298、21～202、21～208、203～298、209～298、21～246、21～250位の連続するアミノ酸、または配列番号：3の98～269、118～295、56～239、218～295、142～295、218～239、18～295、18～199、18～205、200～295、206～295、18～243、18～247位の連続するアミノ酸をコードする単離ポリヌクレオチドまたはその補体。

【請求項4】

担体と、請求項3に記載の単離ポリヌクレオチドとからなる組成物。

【請求項5】

配列番号：2の101～272、121～298、59～242、221～298、145～298、221～242、21～298、21～202、21～208、203～298、209～298、21～246、21～250位の連続するアミノ酸、または配列番号：3の98～269、118～295、56～239、218～295、142～295、218～239、18～295、18～199、18～205、200～295、206～295、18～243、18～247位の連続するアミノ酸をコードする単離ポリヌクレオチド配列とからなるベクター。

【請求項6】

担体と、請求項5に記載のベクターとを含む組成物。

【請求項7】

請求項5に記載のベクターとからなる形質転換宿主細胞。

【請求項8】

APM1ポリペプチドのGZIPポリペプチドへの結合をブロックするアンタゴニストをスクリーニングする方法であって、

試験化合物の存在下又は非存在下で、APM1ポリペプチドをGZIPポリペプチドと接触させ、試験化合物の存在下又は非存在下でGZIPポリペプチドのAPM1ポリペプチドへの結合を検出することからなる方法。

【請求項9】

GZIPポリペプチドのアンタゴニストをスクリーニングする方法であって、

GZIPポリペプチドを試験化合物と接触させ、前記試験化合物の存在下又は非存在下でGZIPポリペプチドの脂質分配、脂質代謝およびインスリン様活性を検出し、前記試験化合物は、該化合物を用いていない結果と対立する場合にGZIPのアンタゴニストとして同定される方法。

【請求項10】

体重を減少させる方法であって、請求項2、4又は6に記載の組成物を、体重減少を必要とする個体に投与して体重を減少させる方法。

【請求項11】

体重を増加させる方法であって、GZIPポリペプチドのアンタゴニストを体重増加を必要とする個体に投与して体重を増加させる方法。

【請求項 1 2】

個体において循環遊離脂肪酸レベルを下げる方法であって、請求項 2、4 又は 6 に記載の組成物からなる組成物を前記個体に投与することからなる方法。